

第5回一関市下水道事業等経営審議会会議録

- 1 会議名 第5回一関市下水道事業等経営審議会
- 2 開催日時 平成28年11月25日（金）午後2時から午後2時50分まで
- 3 開催場所 一関保健センター2階会議室3・4
- 4 出席者
 - (1) 委員 菅原繁雄（会長）、山田共子、佐々木親弘、加藤三夫、皆川長子、鈴木孝男、金野ます子
 - (2) 事務局 岩本孝彦上下水道部長、佐藤隆博上下水道部次長兼下水道課長、玉澤俊一花泉支所建設水道課長、千葉幸司大東支所建設水道課長、千葉彰千厩支所建設水道課長、細川寿明東山支所建設水道課長、千葉克之室根支所建設水道課長、齋藤祐二川崎支所建設水道課長、岩淵博明藤沢支所建設水道課長、佐々木敏昭下水道課長補佐兼工務係長、菊地輝昭下水道課長補佐兼普及係長、鈴木正志下水道課長補佐兼管理係長、阿部国実下水道課主任主事、小野寺裕太郎下水道課主事
- 5 議題
 - (1) 一関市汚水処理計画（案）について
 - (2) 答申について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 2人（うち報道機関2人）
- 8 挨拶
会長挨拶

当審議会では、昨年12月に市長から、一関市全体のこれからの汚水処理の方針を定める「一関市汚水処理計画」の策定について諮問を受け、これまでに4回の審議会を開催したところである。前回までは、次世代に豊かな自然環境や保全をするためには、下水道への接続や、浄化槽の設置を進めるための啓発が必要であることや、高齢者の一人暮らしなど普及が進まないことの課題など、多くのご意見をいただいた。また、汚水処理計画案には、水洗化の普及対策に関して、他の部署との連携や、老朽化や更新等の現状の表現、下水道資源の現在の活用状況を入れることなど、ご意見をいただいた。前回までに委員の皆様からは多くのご意見をいただいたことで、審議がだいぶ深まった。

本日は、それらの意見を反映させた汚水処理計画案について事務局より説明をいただき、委員の皆様からご意見を頂戴して、計画案の答申を行いたい。委員の皆様からの忌憚のないご意見などをよろしくお願ひしたい。

9 審議内容

(1) 一関市汚水処理計画（案）について

今までの審議内容を説明後、11月16日と11月22日に公共下水道の一関処理区及び千厩処理区を対象として開催した「公共下水道事業に係る懇談会」の要旨及び一関市汚水処理計画（案）について、資料に基づき事務局から説明を行った。

質疑・意見交換については次のとおり。

○ 委員質疑

一関市の人口予測について、資料1 P17の数値とP34、35の数値が合っていないが、なぜか。

【事務局回答】

P17の人口予測は「一関市人口ビジョン（平成27年10月）」将来展望シミュレーションによる推計である。一関市総合計画ではこの数値を採用しており、一関市汚水処理計画でも同じくこの数値を用いて整合を図った。P34、35の資料は一関市汚水処理施設整備計画（アクションプラン）の数値であり、こちらは国立社会保障・人口問題研究所で算定した数値を採用している。汚水処理施設整備計画は、一関市独自の人口推計でなく、全国統一の人口推計を用いるように県からの指示があったため、「一関市人口ビジョン」の推計は採用しなかった。人口の試算の根拠を記載する。

(2) 答申について

答申書案を委員に配布し、事務局から読み上げを行った。

原案のまま答申することとして異議が出なかったため、菅原会長が答申書に署名押印をし、市長代理である岩本上下水道部長へ手交を行った。（別紙のとおり）

(3) その他 なし

10 事務局連絡

今後、一関市汚水処理計画については、下水道課で文言などの整理等を行い、パブリックコメントなどを実施し、さらに広くご意見をいただき、本年度中に策定する予定としています。長い間ご審議いただき、ありがとうございました。なお、審議会委員の任期については12月15日までとなっているが、今回が任期中最後の審議会となります。

11 上下水道部長挨拶

委員の皆様方には一関市汚水処理計画策定について、昨年12月から5回にわたり、慎重に審議いただき、ありがとうございます。

汚水処理を取り巻く環境については、人口減少、施設の老朽化など、大変厳しくなることが予測されておりますが、今後の汚水処理の目指すべき方向性を皆様で示していただきました。

また、委員の皆様からは、汚水処理の接続促進や、環境保全意識の高揚を一層図ることが必要であることや、下水道資源の有効利用の促進、災害の備えの必要性など、貴重なご意見をいただきました。

汚水処理の将来像として掲げていただいた「環境」「快適」「持続」の実現に向けて、地域の実情に合った効率的な整備の促進、維持管理費の縮減、水洗化の促進などに取り組んで参りたいと考えております。

また、この実施状況については、検証しながら、実現に向けていきたいと思っております。
本当に長い間ありがとうございました。

12 担 当 課 上下水道部下水道課